



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 12. 10

下水道機構の『新技術情報』 第71号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



今日 12 月 10 日はノーベル賞授賞式ですね。寒波に見舞われた日本列島も山中教授の受賞でホットに！日本のノーベル賞授賞は 19 人目となるそうです。こういった明るいニュースはたくさん聞きたいですね！

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第 7 1 号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・11 月 27 日(火)に平成 24 年度第 1 回リアルタイム雨水情報ネットワーク共同研究委員会(委員長：東京大学 古米教授)が開催されました

・11 月 20 日(火)に平成 24 年度第 2 回汚泥処理技術共同研究委員会(委員長：山梨大学 金子教授)が 開催され、継続案件 3 件、新規案件 1 件について、審議が行われました

★機構の動き

・今週は、11 日(火)に第 1 審査証明委員会、12 日(水)に第 2 審査証明委員会、13 日(木)に技術サロン、14 日(木)第 4 審査証明委員会が開催されます

★Tea Break

・長期予報はなぜ当たらないのか？(資源循環研究部長 石田貴さんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

・今回は、まる子はお出かけのためお休みします

★国からの情報

・12 月 7 日付下水道ホットインフォメーション

.....
インフォメーション (最新の話題です)
.....

●11 月 27 日(火)に平成 24 年度第 1 回リアルタイム雨水情報ネットワーク共同研究委員会(委員長：東京大学古米教授)が開催されました。

本研究は、オリジナル設計(株)、(株)中央設計技術研究所、(株)東京設計事務所、(株)東芝、(株)日水コン、(株)ニュージェック、中日本建設コンサルタント(株)、日本上下水道設計(株)、日本水工設計(株)、三菱電機(株)、メタウォーター(株)と当機構の計 12 者による共同研究として実施しており、X バンド MP レーダ情報を下水道分野において導入・利

活用するための基本的な考え方や留意事項等について調査研究を行い、技術資料を取りまとめることを目的としております。

今回の委員会では、研究の背景と目的、技術資料の構成と目次案および今後のスケジュールについて報告を行い、それらの内容についてご意見をいただきました。次回の委員会では、今回のご意見を反映した技術資料案を作成し、その内容についての審議を行う予定

としております。

なお、本研究は、来年7月頃に技術資料として取りまとめる予定としております。

●11月20日(火)に平成24年度第2回汚泥処理技術共同研究委員会（委員長：山梨大学金子教授）が開催され、継続案件3件、新規案件1件について、審議が行われました。

議題は、下記4件です。

- (1) 「鋼板製消化タンクに関する共同研究」、
- (2) 「トータルエネルギーシステムとしての汚泥減量化技術に関する共同研究」、
- (3) 「回転ドラム型濃縮機の性能に関する共同研究」
- (4) 「下水処理場における小型バイナリー発電による排熱利用に関する共同研究」

(1) に関して、継続案件として審議が行われました。

本件は、(株)神鋼環境ソリューションと当機構の共同研究になります。

今回の委員会では、建設費、ライフサイクルコスト、攪拌機の性能、ガスの発生状況、保温性能、塗装の仕様などについて新たな運転データを用いて議論しました。今後は、委員会の指摘事項を受けて追加データを取得しながら、技術マニュアル策定に向けて、マニュアル案の作成を行なっていきます。

(2) に関して、継続案件として審議が行われました。

本件は、(株)神鋼環境ソリューションと当機構の共同研究になります。

今回の委員会では、汚泥の可溶化設備を導入した場合の費用効果やエネルギー削減効果についてのケーススタディの結果について報告を行いました。また、未利用エネルギーである焼却設備からの廃熱利用の効果も踏まえ議論を行いました。

本テーマは今年度、技術マニュアルとしてまとめる予定です。

(3) に関して、継続案件として審議が行われました。

本研究は、平成24年度実施の(株)タクマと当機構の共同研究です。成果品として「技術マニュアル」を取りまとめるものです。

今回の委員会では、実証試験で得られた余剰汚泥処理の四季のデータ、連続運転性、処理量と回転数変動の影響、環境測定結果、コスト検討等について議論を行いました。他に、混合生汚泥処理の大容量処理について議論を行いました。今後は、追加データの取得と技術マニュアル案の作成を行う予定です。

(4) に関して、新規案件として審議が行われました。

焼却炉からの低位排熱を利用した排熱発電を実証試験より検証するものです。技術の概要、スケジュールを説明後、研究内容、研究項目について議論した。

平成24年度までに実証機の製作を行い、平成25年5月よりデータの取得を予定しています。

本テーマは技術マニュアルとして、平成25年度内にまとめる予定です。

●平成 24 年 12 月 11 日(火) 14:30～17:00

平成 24 年度第 3 回第 1 審査証明委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

案件：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議
および質疑応答

●平成 24 年 12 月 12 日(水) 15:00～17:30

平成 24 年度第 3 回第 2 審査証明委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

議案：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議
および質疑応答

●平成 24 年 12 月 13 日(木) 17:00～18:00

第 310 回技術サロン、場所：下水道機構 8 階会議室

ゲスト：日本下水道事業団 技術戦略部技術開発審議役 藤本裕之氏、

テーマ：J S における技術開発の取り組みについて

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-310.htm>

●平成 24 年 12 月 14 日(金) 14:00～17:00

平成 24 年度第 3 回第 4 審査証明委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

議案：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議
および質疑応答

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●長期予報はなぜ当たらないのか？（資源循環研究部長 石田貴さんからの投稿です）

明日の天気については、最近かなり当たるようになったと思いますが、長期予報となるとぜんぜん当たらないと思いませんか？観測技術やシミュレーション技術の進歩により、短期予報はかなり正確になっていますが、今年の夏は暑くなりそうかとか今冬は寒くなりそうかなどといった長期予報はほとんど外れているような気がします。この原因は、大気現象がランダムなため初期条件の影響が長続きしないためといわれています。

ひるがえって我が下水道界の長期予報はどうでしょうか？年末も近づいたので、来年の予想や 10 年後がどうなるかなど考える良い機会が巡ってまいりました。お天気と違って、下水道に携わる人々の思いはランダムでなく、強い意志と意欲を持って望むとしたら、われわれの望む未来が開けてくると思いませんか？それとも、成り行き任せで長期予報と同じでよしとするのでしょうか？

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

●今回は、まる子はお出かけのためお休みします

=====

皆さまからの情報提供をお待ちしておえます！

提供はこちらまで→



伝の認定証をご用意しています。

下水道の仕組みを楽しく学ぶことができますのでご家族・お友達同士で是非遊びにいらして下さい。

会期：12月13日（木）～12月15日（土）

10:00～18:00（最終日は17:00まで）

会場：東京ビッグサイト（東1～6ホール）

<http://eco-pro.com>

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■21世紀水倶楽部連続研究集会の開催について【NPO21世紀水倶楽部】

（平成25年1月30日開催）

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

→11月30日掲載

■「京都大学-清華大学 第4回深センGCOE・EMLシンポジウム」の開催について

【京都大学日中センター（中国・深セン）】

（12月14～15日開催）

参加希望の場合は、京都大学日中センター（中国・深?）の岡本まで

okamoto.seiichiro.8s@kyoto-u.ac.jp

→11月16日掲載

■「平成24年度第1回 地震・津波に関するシンポジウム～東海・東南海地震・津波にどうむかいあうべきか～」【全国上下水道コンサルタント協会】

（12月20日開催）

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

→11月8日掲載

★図書のご案内☆

■丹保憲仁先生著『水の危機をどう救うか』（PHP研究所）

<http://www.php.co.jp/books/detail.php?isbn=978-4-569-80925-0>

→11月30日掲載

=====

【参考情報】

◆下水廃熱生かし切る <11/29 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/area/hokkaido/articles/MTW20121129011080001.html>

◆我孫子市液状化対策委が初会合、委員ら現地視察 /千葉 <12/4 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/chiba/news/20121204ddlk12040282000c.html>

◆恵庭市で道路冠水、建物浸水相次ぐ <12/5 苫小牧民報>

<http://www.tomamin.co.jp/2012c/c12120502.html>

◆水環境と多様性、研究者ら講演 岐阜大でシンポ <12/5 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/gifu/20121205/CK2012120502000021.html>

◆潮来市・液状化対策工事、幹線道路で先行実施 9日説明会 <12/5 茨城新聞>

http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13546240402903

◆急がれるインフラの老朽化対策 <12/5 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/atmoney/kouza/kabuka2/03/20121205-OYT8T00580.htm>

◆経産省、河川・下水・地中など未利用熱の活用促進―実証設備など補助 <12/5 日刊工業新聞>

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx1520121205aabd.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■